

平成28年度

# 安城市の教育

安城市教育委員会

---

平成28年8月発行 150部

平成28年度

## 安城市の教育

編集・発行 安城市教育委員会  
〒446-0045  
安城市横山町下毛賀知13番地1  
電話 (0566) 71-2253  
FAX (0566) 77-0001

---

# 安城市民憲章

(昭和47年制定)

わたくしたちは安城市民です。  
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた  
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、  
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- \*たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- \*きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- \*自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- \*教養を高め、若い力を育てましょう。
- \*健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

## 青少年をすこやかにはぐくむ都市宣言

(昭和57年6月8日)  
議 決

あすの安城市を築く青少年が、豊かな情操と正しい社会性を持ち、心身共にたくましく育つことは、市民すべての願いである。

この願いを実現するため、市民ひとりひとりが姿勢を正し、青少年をとりまく環境及び諸問題への関心と認識を深め、相互の連帯を強めることによって、青少年が情熱と自覚と責任を持って行動できるよう見守っていく必要がある。

ここに市民の総力を結集し、次代を担う青少年の健全育成をめざし、安城市を「青少年をすこやかにはぐくむ都市」とすることを宣言する。

### 市 章



(昭和35年に制定)

安城の「安」を圖案化したもので、下部を末広がりにし発展を象徴、丸く囲んだのは円満・和を象徴しています。

### 市 の 木 (クロマツ)



市民投票  
昭和47年に制定

かつての安城ヶ原は、小松の原野であり、現在の安城の緑の主体となっています。旧東海道の松並木は、400年の歴史を秘めて、市の文化財に指定されています。

### 市 の 花 (サルビア)



市民投票  
昭和47年に制定

だれにでも作りやすく、家庭や学校の花壇に多く栽培され市民に親しまれています。夏から秋にかけて燃えるような赤い花をつけ、躍進著しい安城をしのばせます。

### シンボルマーク



公募  
平成4年に制定

安城の頭文字「A」を圖案化したもので、青と緑の2色。未来に向かった大空と大地をイメージし、調和と力強い発展を表現しています。

## はじめに

今年、安城市にとって大きくかじをきる年となります。昨年度までは第7次安城市総合計画「市民とともに育む環境首都安城」として取り組んでまいりましたが、本年度から新たに第8次安城市総合計画「幸せつながる健幸都市安城」をスタートさせました。本年度から8か年の計画であります。「健幸都市」とは「健やかで幸せな都市」で「ケンサチ」と読みます。安城市は人口増加が続き、比較的若い世代が多い市ですが、今後は、多様な世代の市民すべてが健康で幸せ、すなわち「ケンサチ」を重視していくことが大切であると考えたわけです。その考えを「健康・環境・経済・絆・子ども」の5つのキーワード（5K）の視点から改革を進めてまいります。

5Kのうちの「子ども」という点からすると、本年度から市独自の少人数学級推進事業として、35人学級を小学4年生まで拡大をしました。小学1、2年生で行っている30人程度学級、3年生の35人学級と相まって、子どもたちにより細やかな指導ができるものと考えています。また、スクールアシスタント制度を立ち上げ、校務補助や特別支援教育補助の仕事などだけでなく、教科指導の準備などにも従事することを可能とし、各校の裁量でスクールアシスタントを任用することができるようになりました。学校現場のニーズに、より柔軟に対応できるようになってきています。

教育環境面においては、老朽化した校舎の改修を計画的に行い、エレベーターを順次設置していくなどバリアフリー化を推進しています。また、全小中学校のトイレの全面改修を順次進めるなど、安全で快適な環境で学習できるよう整備を進めてまいります。

さらに、学習指導でのICT活用の推進を図るため、昨年度から導入しているタブレット端末及び電子黒板が、本年度で市内の全小中学校に配備されます。これらを導入することにより、児童生徒の学習に対する知的な興味・関心を高め、学び合いによる教育活動を幅広く展開できると考えています。ICT教育の推進は、これからの時代を生きる児童生徒たちにとって、学力向上という面だけでなく、あふれる情報から自分に必要な情報を取捨選択できる能力を高めることにも効果が期待できると考えています。

さて、更生病院の跡地において中心市街地拠点整備事業が順調に進んでいます。人と人との「絆」、「子ども」の学びの場、市街地の「経済」活性化などにつながっていくものと考えています。このアンフォーレ（中心市街地拠点施設）は、地上5階、地下1階で、図書情報館を中心に多目的ホールやカフェ、スーパーやカルチャースクールなどもあり、町のにぎわいの中心地となるでしょう。平成29年6月のオープンを目指しています。市民の憩いの場となるだけでなく、各小中学校の図書館の中心的機能をもたせていきます。そのため、本年度から学校司書を、昨年度までの中学校区に1名ずつの配置から、およそ2校に1名ずつ配置するなど充実させています。市の図書情報館アンフォーレ開館（平成29年6月1日）と同時に、学校の図書館の連携が円滑に推進できるよう準備を進めます。

ここに「平成28年度版 安城市の教育」を刊行いたしました。この冊子を通じて安城の教育文化に対する理解を深めていただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

# 目 次

はじめに		(1) 生涯学習の目標	34
		(2) 青少年教育	34
		(3) 市民憲章の推進	40
		(4) 社会教育施設・団体等	40
<b>I 安城市の概要</b>	1	2 公民館	42
<b>II 教育委員会</b>	2	(1) 公民館組織	42
1 教育委員会委員	2	(2) 公民館事業	43
2 教育委員会の組織及び事務分掌	3	(3) 公民館等施設	46
(1) 教育委員会の組織と職員数	3	(4) プラネタリウム	47
(2) 事務分掌	4	(5) 利用状況	48
3 教育費予算額等の推移	6	3 市民会館	50
(1) 教育費当初予算額の推移	6	(1) 市民会館の概要	50
(2) 教育費決算額の推移	7	(2) 利用状況	50
<b>III 学校教育</b>	8	4 図書館	51
1 学校教育の推進	8	(1) 図書館事業の目標	51
(1) 教育実践の活動	8	(2) 中央図書館の施設概要	51
(2) 教育センターの活動	17	(3) 蔵書の構成及び冊数	52
(3) 視聴覚センター	21	(4) 登録者・入館者の状況	52
2 児童生徒と教職員	22	(5) 図書館事業の状況	53
(1) 幼、小、中学校児童生徒数	22	5 歴史博物館	55
(2) 教職員数	24	(1) 目標	55
(3) 中学卒業者の状況	25	(2) 館蔵資料	55
(4) 児童生徒数推計	25	(3) 施設概要	56
3 心身の健全育成活動	25	(4) 利用状況	57
(1) 学校教育関係体育行事	25	6 埋蔵文化財センター	58
(2) 学校保健	26	(1) 概要	58
(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター	26	(2) 利用状況	58
(4) 生徒指導推進の組織	26	7 市民ギャラリー	59
4 野外教育活動	27	(1) 概要	59
5 就学・奨学制度	28	(2) 利用状況	60
(1) 奨学金制度	28	(3) 文化振興	61
(2) 私立高等学校等授業料補助	28	8 丈山苑	63
(3) 就学援助	28	(1) 概要	63
(4) 特別支援教育就学奨励	29	(2) 利用状況	64
(5) 幼稚園就園奨励	29	9 文化財保護事業	65
(6) 幼稚園第三子無料化	29	(1) 目標	65
6 学校施設の設置状況	30	(2) 指定文化財	65
7 学校給食	31	10 史料整理活用事業	66
(1) 学校給食の目標	31	(1) 調査・収集資料	66
(2) 学校給食の組織	31	(2) 教育普及活動	66
(3) 調理場施設及び調理数	32	11 社会体育	67
(4) 給食実施計画	32	(1) 社会体育の目標	67
(5) 食に関する指導	32	(2) マイスports運動の推進	67
(6) 給食費の推移	33	(3) 競技スポーツの振興	72
(7) 給食内容	33	(4) 指導者の養成と研修	73
(8) アレルギー対応	33		
<b>IV 生涯学習</b>	34		
1 生涯学習	34		

(5) スポーツ団体の育成と相互理解	74
(6) スポーツ施設の効率的利用 と整備充実	75
(7) 計画の評価と推進体制の整備	75
(8) 体育施設	77
(9) 利用状況	79

## 付 録

1 歴代の委員	82
2 教育委員会の沿革	84
3 教育関係施設・休館日一覧	92